

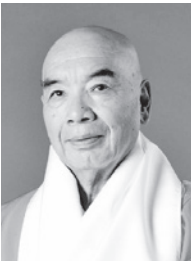
# 全国協議会 ニュース

2020年1月1日発行 第331号

発行所：特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会  
〒101-0031 東京都千代田区東神田 1-3-4KT ビル 3階  
TEL：03-5823-6360 FAX：03-5823-6365  
発行責任者：田中重勝 題字：仲田順和（会長）  
https://www.marrows.or.jp E-Mail:office@marrows.or.jp

## 新年のご挨拶

2020年が明けました。全国協議会は6月24日に設立30周年を迎えます。支えていただいているすべての皆さまに感謝申し上げます。



全国骨髄バンク  
推進連絡協議会  
会長  
仲田 順和  
(真言宗総本山・  
醍醐寺座主)

新年あけましておめでとうございます。

令和になり初めての新年を迎えました。昨年は、台風による大きな被害が発生しました。被災された方にはお見舞いを申し上げます。本年は、災害のない平穏な一年でありますようにと願っております。

さて、骨髄バンクの推進運動も三十周年を迎えることとなりました。

設立から骨髄バンクの普及に心を寄

せ合う仲間たちが、一つの地道な活動を全国で育み、造血細胞の移植に必要な法令の整備がなされたことは、国民にとってたいへん幸せな結果を生み出していることと存じます。

信念をもって、日々地道な活動を継続していくことが、このような素晴らしい成果を生み出せることは、まさしく元号「令和」の願いに込められた、美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つこと、に他ならないものと確信いたしております。

私たちの支援活動は、今後も継続してまいります。やがて公的な支援により等しく享受できるよう、私たちの活動からそのような文化が育まれることを祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



骨髄・さい帯血  
バンク議員連盟  
会長  
衆議院議員  
野田 聖子

謹んで新年のご挨拶申し上げます。今年には東京オリンピック・パラリンピックという一大イベントを控え、開催を心待ちにされている方々も多いかと思えます。

さて、日本を取り巻く環境は大きく動いていますが、今私たちが取り組んでいる骨髄・さい帯血ドナー事業の安定とさらなる発展は、どのような状況にあっても確実に成し遂げていかなければなりません。

骨髄バンク事業を支えているのは、ボランティアの皆様や、献血、ドナー登録をしてくださっている方々の善意です。その思いがしっかりと患者さんに届くように、今後も皆様と力を合わせて環境整備に取り組んで参りたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## CHARITY TOKYO MARATHON 2020

全国協議会は3月1日(日)に開催される東京マラソン2020のチャリティ寄付先団体に選ばれ、私たちを支援いただいた100人のチャリティランナーが東京を駆け抜けます。

このチャリティによって、「骨髄バンク」が広く知られるようになり、また、いただいたご寄付によって患者さん・患者家族の皆さんの支援などを一層進めていくことができます。

当日は、応援団を結成し、チャリティランナーの皆さまを応援します！皆さまもご声援をよろしくお願ひいたします。

東京マラソン2020チャリティ公式ウェブサイト  
https://www.marathon.tokyo/charity/  
～全国骨髄バンク推進連絡協議会は、  
東京マラソン2020チャリティ事業の寄付先団体です～

### 東京マラソンチャリティ “Run with Heart”とは

東京マラソンを走り・支え・応援して下さる人々に、チャリティやスポーツ振興・環境保全・世界の難民支援・難病の子供たちへのサポート、動物愛護といった社会貢献について考えるきっかけを届け、ひとりひとりのハートと社会を繋げていきたい。そんな願いを込めて東京マラソンチャリティは運営されています。



走れる幸せを誰かの幸せにつなげよう。東京マラソンでは、チャリティを総称して“Run with Heart”と呼び、独自のスタイルを提案していきます。

東京マラソンチャリティ事業は、各寄付先団体と一般財団法人東京マラソン財団が協働で運営しています。

～東京マラソン2020チャリティ公式ウェブサイトより～

### 骨髄バンクの最新情報をお知らせする

#### 骨髄バンク NOW

《MONTHLY JMDDP(12月13日発行)より抜粋》

#### ■日本骨髄バンクの現状(2019年11月末現在)

	10月	11月	現在数	累計数
ドナー登録者数	4,731	3,904	528,161	815,251
患者登録者数	250	232	1,960	58,086
移植例数	123	117	—	23,868

#### ■11月の区分別ドナー登録者数

献血ルーム／724人、献血併行型集団登録者／3,044人、集団登録者／72人、その他／64人

#### ■11月の年齢別ドナー登録者数(現在数)

10代 5,501人／20代 82,289人／30代 139,757人  
40代 224,237人／50代 76,377人

#### ■11月の20歳未満の登録者448人

■11月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数：843件

注)数値は速報値のため訂正されることがあります。

# 新年のご挨拶

関係機関のみなさまからお寄せいただいた年頭のご挨拶をお届けします。



厚生労働省健康局  
難病対策課  
移植医療対策推進室  
室長  
**井口 豪**



公益財団法人  
日本骨髄バンク  
理事長  
**小寺 良尚**



日本赤十字社  
血液事業本部  
本部長  
**高橋 孝喜**

謹んで新年のお祝いを申し上げます。  
平成3年に骨髄バンク事業が開始されて以来、公益財団法人日本骨髄バンクを介した骨髄や末梢血幹細胞の移植は、累計で2万3千件を超えております。

このように本事業が発展致しましたのは、骨髄バンク事業を支えて頂いている全国のボランティアの皆様方や関係者の方々の御理解、御支援の賜物であり、この場をお借りしまして深く感謝を申し上げます。

厚生労働省と致しましては、移植を希望する患者の方々にとって、病気の種類や病状に応じた造血幹細胞移植が行われ、その生活の質の改善が図られるよう、今後も、関係者の皆様の御意見も伺いながら、造血幹細胞の適切な提供の推進に取り組んでまいります。

本年は、造血幹細胞移植推進拠点病院における就労支援等の社会復帰体制の整備や、地域の医療機関においても移植後の患者のフォローアップを行うことができる体制の整備を図るとともに、ドナーの住所不明保留者対策、職場や家庭等に対する骨髄提供の理解を促進するための普及啓発を行い、さらに、昨年に引き続き、若年層ドナー登録者の確保対策、企業におけるドナー休暇制度導入の推進・支援等に取り組む一年にしたいと考えております。

結びに、造血幹細胞移植対策事業の推進に当たり、貴協議会の益々の御支援、御協力を賜りますよう心からお願い申し上げますとともに、会員皆様方の御健勝、御活躍を心より祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願ひ致します。

日本骨髄バンクのドナー登録者は現在53万人、累計移植件数は2万4000例に迫っております。これもひとえにドナーの皆様、ボランティアの皆様、全国の病院や関係機関のご尽力の賜物でございます。深く感謝申し上げます。

全国骨髄バンク推進連絡協議会様におかれましては、白血病フリーダイヤルや患者さんへの経済的支援、地域で開催される各種催事への協力など多岐にわたる事業を担われてきました。長年にわたり骨髄バンク事業をご支援していただき、厚く御礼申し上げます。

2020年、日本骨髄バンクは重点課題である若年層ドナー獲得に引き続き取り組みます。20代30代の生活に深く浸透しているインターネットを活用して、重層的な普及啓発活動を展開します。また就業ドナーが提供しやすい環境を整えるため、「ドナー休暇制度」導入を企業等に継続的に働きかけます。すでに約500の企業や団体、大学に導入いただいております。さらに増えるよう鋭意努力してまいります。関係各位のご支援ご協力をお願い申し上げます。

当法人は来年2021年に設立30周年を迎えます。30周年機運を盛り上げるため、各種PRを順次実行してまいります。

末筆ではございますが、皆様様の今年のご活躍ご発展を祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日本赤十字社は、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ことを使命として、様々な分野で人道支援活動を行っており、造血幹細胞事業においても、造血幹細胞提供支援機関及び臍帯血供給事業者としてこの使命を果たすべく、関係者の皆様方と連携し、様々な取り組みを行っております。

喫緊の課題である若年層への普及啓発については、平成27年度より一部の教育委員会と協力関係を築き、未来を担う子どもたちへ造血幹細胞移植の重要性を伝えるための活動に取り組んでおり、この活動をモデルケースとして、更なる展開ができるよう検討を進めて参ります。また、将来移植医療に携わる可能性のある看護学生にも造血幹細胞事業の重要性を理解してもらうため、赤十字看護専門学校を中心としたセミナーを開催するなど、特に将来を担う若年層への普及啓発に力を注いでおります。

私共はこれからも適切な事業運営に努め、造血幹細胞移植を希望する患者さんの想いに寄り添い、一人でも多くの方の移植医療に貢献できるよう、引き続き骨髄・末梢血の提供支援、臍帯血の提供を推進していく所存でございます。これからも貴協議会をはじめ関係団体の皆様と一丸になって、事業の充実、発展に取り組んで参りますので、今後ともご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、貴協議会の益々のご発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。





全国骨髄バンク  
推進連絡協議会  
理事長  
**田中 重勝**

明けましておめでとうございます。  
令和となり骨髄ドナー登録者数も、53万人を超えるまでになってまいりました。これは全国各地で普及啓発活動とドナー登録推進活動が日々行われてきたことによるもので、その運動を支えていただいた全国各地のボランティアの皆様には敬意を申し上げます。全国協議会では、全国各地での普及啓発活動を支援するための資料を準備したり、最新情報をお届けすることに努めるほか、患者さんを支援する活動にも力を入れているところで、今日では白血病も乗り越えることが

出来るようになり、治療後の長い人生を、希望あるものとしていただきたいと願っているものです。中でも治療後に赤ちゃんを授かりたいという患者さんの夢を応援する「このとりマリン基金」は、経済的に困窮されている患者さんが対象と限られたものでしたが、財源が窮乏してきたことから、クラウドファンディングで患者支援をお願いいたしました。おかげさまで多くの皆様の賛同をいただき、大きなご寄付をいただくことが出来ました。さらには東京マラソン2020チャリティの寄付先団体にも選定を受けることができましたので、これらを財源としてさらなる患者支援の活動を推進してまいりたいと思っています。

こうしたご寄付をいただくことが出来たのは、全国各地でこれまでの継続した活動という下支えがあったおかげであり、その活動が社会全体で認識されてきた賜物と思っています。

一方、このとりマリン基金による卵子保存への支援は、所得制限により極めて一部の少数の方への支援でしかありませんが、徐々にではあります全国各県等においての助成制度が整備されつつあり、多くの患者さんへの希望の光となろうとしています。まさに当協議会の基金制度が大きな花を開花させようとしているようです。

また、本年は当協議会の設立30周年という記念の年を迎えます。そのため30周年記念事業として、白血病を告知された時、これを克服しようという信念で、病と向き合っていたいただくための情報が満載された「白血病と言われたら」の第6版を発行してまいります。さらに、各地での患者支援セミナーを開催するなど、各地ボランティアの皆様のお力をお借りして、共に進めてまいりたいと考えております。

多くの皆様のご支援ご協力をさらにお願い申し上げます。

### 大和郡山市の ドナー助成第一号！



今回、骨髄提供させていただいた、矢部達大です。普段は社会学を学ぶ大学生で、好きな作家はやなせたかし先生です。

ぼくが骨髄バンクに登録したのは2016年のこと。当時、18歳になったばかりのぼくは、馴染みの献血ルームで「人のお役に立てるなら」と、何の気無しに登録。そんなぼくのコーディネートが始まったのは、2019年5月のこと。なんと当時20歳です。

検査や通院の中でリスクも伝えられましたが、「自分が患者さんだったら、骨髄提供を望むだろうか」と考えました。その時、ぼくも患者さんであれば提供を望むだろうと思い、「ぼくで良ければ」という気持ちで同意しました。

そこから2回の採取延期があり、待機時間は長期でしたが、大学卒業後の進路を考えるタイミングで、考え事をして待ちました。そうすると時は短い

もので、無事に提供を終えられました。大和郡山市のドナー給付金制度はぼくがドナーになる行程と並行するかのようには決まったそうです。学生でアルバイトをしていたので、給付金は大変助かりました。また給付金制度を知らなかったぼくに、この制度を教えてくださいました友人にも感謝です。

ところで、やなせ先生の代表作「アンパンマン」は、「献身」と「愛」の2本柱でできています。自分の身を犠牲にしても、他者に尽くし、愛でるのが、皆さんご存知アンパンマンです。

ぼくは今回の経験で、現代のアンパンマンになれたのでしょうか。色々な思いを馳せながら、患者さんのご快復を祈るばかりです。

(奈良県大和郡山市在住  
矢部達大さん)

### ドナー助成金制度 活用のために周知を！

骨髄バンク推進全国大会2019in長野「ドナー登録者数全国ワーストからの脱出作戦会議！」から3か月が過ぎました！長野県においては、今までの行政もドナー助成金制度を導入していませんでしたが、この全国大会開

催のおかげで諏訪市を筆頭に導入が始まり、今では約15の行政が導入しました。検討中の行政も多く、ゼロから始めたのでとても有難い話で感謝です。

しかし、導入して終わりではないのです！先日導入したばかりの伊那市のライオンズクラブの依頼で講演会をした際、ドナー助成金制度が導入された事を話すと、皆さん知らないとの事…。諏訪市では導入された後の周知のやり方を市議員さんが一般質問したところ返答は「ホームページに掲載している」との事。しかし、ホームページなんてよほどでないで見ません！

企業のドナー助成金制度を導入してくれた金融会社のドナー登録会で若い女性2人が登録してくれた際に、貴社では助成金制度の導入をされているから活用できますよ！と私が言ったら知らなかったと…。

行政も企業も導入して終わりではなく周知をしっかりとしないと意味がないです。

今後は導入したことを市民にしっかりと伝え活用していくことを課題に頑張っていきたいと思っております。

(骨髄バンク長野 ひまわりの会  
笠原千夏子)

各地のたより

各地のたよりを写真添えてお寄せください。

神奈川

骨髄バンク推進  
クリスマスコンサート



骨髄バンクとドナー登録の普及啓発を進めるため「骨髄バンク推進クリスマスコンサート」～あなたの勇気がいのちを救う～を、かながわボランティア活動推進基金 21 の一環として 12 月 22 日 (日) 横浜そごう地下 2 階 新都市プラザイベントスペースで開催しました。

コンサートを通じ、特に 20～30 代の若い世代に関心を高めてもらおうと、従来の室内から屋外に出て同所で、集まった方々や通行人に、「ギフトオブライフ」にドナー登録説明会、プログラムを挟み込み、ドナーの重要性、若い力とあなたの勇気が未来への希望ですと呼びかけました。

横浜を中心に活動するハンドベルグループ「クローバーベルフレンズ」、子どももメンバーに入った「スイングベルズ」が演奏。コーラスグループ「BBB シンガーズ」も、張りのある歌声を響かせ、集まった若者や家族連れから大きな拍手をうけました。

またドナー登録説明コーナーでは、説明と、希望者には登録受付を行い横浜駅東口の献血ルームに案内しました。

当会でも初めての試みである屋外でのコンサートを通じての普及啓発活動は、若い世代や子ども連れの家族に新しいメッセージを伝えることができたのではないかと考えております。

また、出演者から、これからも支援させていただきますのでよろしくと暖かいお言葉もいただきました。ご支援、ご協力いただきました全ての関係者の皆様に感謝申し上げます。

(神奈川骨髄移植を考える会 村上忠雄)

宮崎

行政との協力で  
いのちの輝き展開催



宮崎県では 9 月 24 日 (火) から 10 月 18 日 (金) まで骨髄移植推進キャンペーンの一環としていのちの輝き展をリレー式で 3 か所にて開催しました。

スタートは宮崎県庁に隣接する宮崎県電ホール 1 階ギャラリーに展示し、県庁来庁者等待ち合わせの方や会議の打ち合わせなどされる方々が足を止めて作品を見ておられました。

県電ホールの後はえびの市にバトンタッチ。日ごろから骨髄バンク事業に協力的な市長さんや職員さんによって市役所でも最も目立つロビーを提供くださり展開しました。えびの市役所の職員さんから提案と働き掛けを頂き、次は隣の小林市役所に展示することになりました。

小林市は本年 4 月にドナー助成制度を導入いただいたばかりでしたので、チラシも置かせていただきました。多くの方々に目を留めていただきました。数日後、えびの市役所で開催した献血併行型登録会では多くのご登録をいただきました。行政さんと協力しながらのイベント開催は人手の少ないボランティアにとっては大変ありがたく助かりました。

(みやざき骨髄バンク推進連絡会議 中村福代)

鹿児島

活動が広まり  
ボランティア団体も設立



11 月 17 日 (日) に鹿児島県の奄美大島で「骨髄バンクチャリティー『愛のコンサート in 奄美』」を開催しました。小中高生の吹奏楽演奏や合唱、プロ音楽家によるポピュラーな曲の演奏をはじめ、白血病についての医療講演会、医療相談会、患者さんが描いた絵の個展と詩の朗読、そして骨髄バンクドナー集団登録会も同時に開催しました。島内全域から多くの住民の皆様に来ていただき、たいへん盛り上がったコンサートイベントとなりました。御協力いただいた関係者に本当に感謝申し上げます。集団登録会では 18 人の方がドナー登録していただきました。前日には説明員養成のための座学研修を行い、集団登録会で実地研修をして 10 人の説明員養成研修会もできました。

この「愛のコンサート」は奄美大島では 3 回目の開催となり骨髄バンクについてかなり認識されるようになったためにボランティア活動の機運が高まり、今回「骨髄バンクを支援する奄美の会」というボランティア団体が新たに立ち上がることになりました。説明員になった方々を中心としてこれからの活動が期待されます。

(かごしま骨髄バンク推進連絡会議 大田耕一郎)

心からのご寄付に感謝申し上げます ● 11 月 21 日～12 月 20 日 (敬称略)

●一般

株式会社チエノワ情報システムズ	現金	12,691 円
骨髄バンクを支援する東京の会	現金	20,000 円
ブックオフコーポレーション株式会社	現金	328 円
大垣プロバス有志	現金	5,000 円
塩谷 圭	現金	1,000 円
松浦 大助	現金	39,017 円
金井 誠一	現金	20,000 円
櫻井 康司	現金	20,000 円
ヤマシタアツシ	現金	3,000 円
エンドウマサヤ	現金	3,000 円
匿名	現金	3,000 円

●佐藤さち子造血細胞移植患者支援基金

公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構	現金	8,213 円
コットンキャップの会 八谷 時子	現金	10,000 円
東京港南マリーナロータリークラブ	現金	100,000 円

●志村大輔患者支援基金

森 千晶	現金	50,000 円
匿名	現金	30,000 円

●こうのとりにマリーナ基金

東京港南マリーナロータリークラブ	現金	230,344 円
ノバルティスファーマ株式会社	現金	100,000 円

●募金箱

株式会社クスリのアオキ	現金	640,296 円
株式会社マルト商事	現金	148,988 円
ホテルタガワ	現金	8,545 円
株式会社 久美堂	現金	10,022 円

●つながる募金

	現金	18,102 円
--	----	----------

●キモチと。

	現金	9,142 円
--	----	---------

●高島屋友の会

	現金	194,790 円
--	----	-----------

活動資金の支援を  
お願いします

銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655

郵便振替口座 00150-4-15754

口座名：特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会